

やぶつばき



四日市市立八郷西小学校 第14号

令和4年9月13日

9月10日(土)は、中秋の名月でしたね。

土・日・祝日に、満月の中秋の名月となるのは、10年ぶりのことだったそうです。
お月見を家族で楽しんだ、話題にしたというご家庭も多かったのではないのでしょうか。



ところで、中秋の名月は、いつも「満月」とは限らないのをご存知でしょうか？

中秋の名月とは、旧暦の8月15日(中秋)に昇る月が一年を通じて最も美しいとされていたことから、そう呼ばれるようになりました。一方、月の満ち欠けによって見える満月は、月や地球、太陽の位置関係によって見える日が異なってきます。新月から満月までにかかる日数は、およそ14～16日と変化するため、中秋の名月は、必ずしも、満月とは限らないのです。という訳で、「満月の中秋の名月」と「土・日・祝日」が重なるのは、10年ぶりとなったのですね。

二学期が始まって二週間が経とうとしています。子どもたちには、このように、身の回りの生活の中に「？」を見つけ、自分で調べたり、考えたりして「知る」楽しさ、「わかる」楽しさを積み重ねていってほしいと思います。

みつけたよ!!

キラリ!かがやき

こうないなつやすみさくひんてん

校内夏休み作品展 (9/5～9/7)

ご家族の愛情に支えられた子どもたちの意欲溢れる作品が並びました。そして、たくさんの保護者の方にご来校いただき、それらを見ていただくことができ大変うれしく思いました。

保護者の皆様のほかにも、八郷西小学校コミュニティスクール運営協議会の委員の皆様やあかつき交通安全隊の皆様、そして、学校林の整備でお世話になっているグリーンボランティアの皆様にもご覧いただくことができました。「すごい!」「がんばっとるなあ」とたくさん誉め言葉をいただきました。



子どもたちの生活ぶりが垣間見られる作品も多くあり、新たな子どもの一面を知る機会にもなりました。
今後、ここで発揮された力を伸ばしていくよう取り組んでいきます。ご協力をありがとうございました。

全国学力・学習状況調査（6年生4月実施）から

今年は、国語科、算数科、理科の三教科の学力調査と学習に対する姿勢や生活習慣等の調査が実施されました。本校の結果は以下の通りでした。

- ・国語科、算数科、理科のいずれの教科も、正答率が県平均及び全国平均を上回りました。
- ・無回答率が低く、特に理科では、全ての問題で県平均及び全国平均を下回りました。
- ・記述で回答する問題の正答率が低く、国語科では、複数の条件を満たしながら、自分の考えをまとめ文章で回答する問題の正答率が、県平均及び全国平均を下回りました。
- ・算数科の割合の問題で、県平均及び全国平均を下回る問題がみられました。
- ・理科では、光の性質を問う問題の正答率が、他の問題と比較して低い結果となりました。
- ・児童質問紙では、それぞれの教科について「好きですか?」「授業の内容がよくわかりますか?」との質問に肯定的な回答が、県平均及び全国平均を上回りました。特に、算数科では、「算数の授業の内容がよくわかりますか?」の問いに対し、96.9%の児童が肯定的な回答をしました。
- ・児童質問紙で、ICTの活用を問う質問について、使用頻度が県平均及び全国平均を下回りました。

今年度も全国や県と比較してよい結果でした。無回答率が低く、問題に最後まで向き合い回答しようとする粘り強い態度が身につけているといえます。

本校では、生活リズムの向上や家庭学習の習慣化への取り組みについて、保護者の皆様にご理解とご協力をいただいていることが子どもたちの学力向上の背景にあると考えています。県全体としての課題（弱み）とされた家庭学習や読書の時間についても、本校は全国平均を上回りました。

なお、本校の弱みは、国語科の「聞くこと・話すこと」と算数科、理科における「生活に結び付けて考えること」と分析しました。そして、全ての教科を通して「考えをまとめて表現すること」「書くこと」に課題を捉えました。また、ICT機器の効果的な活用も課題といえます。

今後の取り組み

- ・書くことに慣れ、書く力を付けていくために、低学年から自分の考えを書く機会や時間の確保に努めるほか、国語科においては、文章構成を捉える指導や条件作文等を、系統だてて進めていく。【学習の基盤となる言語能力の育成】
- ・実生活に結び付けた授業づくりを中心に、具体物を操作する活動や量感、状況をイメージして問題を解決する活動を大切にしてい。【生活の中に学びを活かす態度の育成】
- ・書くだけでなく、「話すこと・聞くこと」にも力を入れていく。聞いている人に自分の意思や考えをわかりやすく言葉で伝える力(表現する力)を養っていく。【対話を通した問題解決能力の育成】
- ・資料(図や表)を用いて説明したり、複数の資料から情報を読み取ったりする活動を授業の中に取り入れていく。【情報活用能力の育成】
- ・家庭、地域との連携により生活リズム向上や家庭学習、家庭読書の取り組みを継続、推進させていく。【自律した学習者の育成】

4、5年生で実施した学力調査みえスタディチェックの結果も踏まえ、“今後の取り組み”について全教員で検討、確認しました。そして、家庭・地域・学校が連携・協働して“今後の取り組み”を進めていきたいと思しますので、一層のご理解とご協力をお願いします。

